

◆読育推進ネットワーク研修会◆

村山地区「読育推進ネットワーク研修会」①

1 テーマ 「本の世界への招待状

～いろいろあります読書活動につなぐ手立て～

2 期日・会場 令和5年7月20日（木）

飴葉プラザ（村山市立図書館・飴葉ホール）

3 対象者

公立図書館（室）職員、小中学校教職員、
読み聞かせサークル及び読み聞かせボランティア、
市町教育委員会家庭教育支援担当者及び読書活動・図書館担当者、
市町児童福祉部局担当者、市町子育て支援センター・保育施設園職員、
一般参加 など（参加者53名）

4 内 容

（1）事例提供「子供たちの本や読書への関心を高めるための実践例」

①杉原 明美 氏（村山市立図書館）

②佐藤奈津子 氏・信夫 春香 氏（尾花沢市立尾花沢小学校）

③遠藤 恭子 氏・武田 静子 氏

（図書館ボランティア チェリー）

（2）村山市立図書館見学

（3）情報交換及びグループワーク

テーマ「子供たちの本や読書への関心を高めるための

取組みや工夫」

- ・「私のおすすめの一冊」及び日々の実践について交流する。
- ・日々の悩みや課題を出し合い、その解決方法や改善のヒントを出し合う。
- ・代表グループの発表や掲示でグループワークの内容を全体で共有する。

（4）村山市自動車文庫「はやま号」見学



5 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・事例報告や同じ図書館職員の悩みを共有することで課題や解決方法のきっかけを発見することができました。
- ・読み聞かせの意義について悩んでいたことが解決できました。
- ・同じ保育士さんとお話することで新しい絵本の出会いや活用法、日々困っていることなど明日からの保育に役立てられることばかりで、参加して本当に良かったなと思います。

村山地区「読育推進ネットワーク研修会②

- 1 テーマ 「大人も子供も心豊かに～絵本や読書の可能性にアプローチ～」
- 2 期日・会場 令和6年1月23日（火） 村山総合支庁西村山地域振興局講堂
- 3 参加対象 公立図書館（室）職員、小中学校教職員、
読み聞かせサークル及び読み聞かせボランティア、
市町教育委員会家庭教育支援担当者及び読書活動・図書館担当者、
市町児童福祉部局担当者、市町子育て支援センター・保育施設園職員、
一般参加 など（参加者25名）
- 4 内 容 (1) 講 話（60分）

テーマ：「大人も子供も心豊かに

～絵本や読書の可能性にアプローチ～」

講 師：川越 ゆり 氏（東北文教大学短期大学部子ども学科 教授）

(2) 情報交換

- ・「私のおすすめの一冊」を紹介する。
- ・講話や今年度の取組みをふり返ったり、
実践を交流したりして意見交換をする。
- ・各グループでどのような情報交換が行わ
れたか掲示し全体で共有する。



5 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・読み聞かせの大切さを改めて感じた。同じ本でも読み手によって伝わり方が違うなど、自分の読み聞かせのあり方を再確認しようと思いました。
- ・地域コーディネーターの方々と連携して読み聞かせボランティアのメンバーを増やし、地域で広げていけたらと思います。
- ・“絵を読む”という発想がなく、「なるほど！」と感じました。もっと絵をよく読んで、今まで読み聞かせていた絵本もさらに読み込んでいきたいです。
- ・「読書＝本」ということではなく、オーディオブックなどの幅を広げることの大切さに気付くことができました。
- ・スマホ等のデジタル化が進む中で、絵本や語りの良さを改めて感じました。絵本や語りに触れる機会をたくさんつくっていきたいです。
- ・ARまで話が広がり感激しました。「アナログ回帰」素敵な言葉です。絵本・読書もまさにアナログであり、今後も本好きな山形っ子、心豊かな人が育つように読育を進めていきたいです。

最上地区「読育推進ネットワーク研修会」

- 1 期日・会場 令和5年11月9日（木）最上広域教育研究センター 第1研修室
- 2 参加対象 家庭教育アドバイザー、最上地区読み聞かせサークル連絡協議会員、行政職員、保育士、図書館職員、地域コーディネーター等
(参加者35名)

3 内 容

演 題：「これからの読み聞かせと新しい本の紹介」

講 師：加藤美穂子 氏 （一社）子どもの読書サポートアシード

<講演>

- ・読み聞かせの極意・読み聞かせボランティアの心構え
- ・相手に寄り添った読み聞かせをする
- ・乳幼児への読み聞かせ
- ・生後8日目くらいには読み聞かせができる
- ・11か月には自分で本を選ばせる

<ワークショップ>

- ・本の持ち方やページのめくり方などを実際に練習し、参加者同士でお互いに聞き合う。



4 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・何度受けても勉強になる講演会で、大変参考になりました。
- ・赤ちゃんからの読み聞かせの大切さをもっとたくさんの人に知ってほしいと思います。映像もとても参考になりました。
- ・保護者向けの研修会があるといいと思います。特に就学に向けた時期にあると、保護者が意識しやすいと思います。
- ・いつも自己流でしていた読み聞かせですが、目からウロコで勉強になることがたくさんありました。

置賜地区「読育推進ネットワーク研修会」(兼第2回置賜地区家庭教育支援フォーラム)

1 期日・会場 令和5年11月2日(木)

長井市 遊びと学びの交流施設「くるんと」

2 参加対象 公立図書館(室)職員、家庭教育アドバイザー、市町担当者、保健師、子育て支援センター指導者、読み聞かせサークル、幼稚園・保育所等関係者、小中学校図書館担当者、PTA関係者等(参加者42名)



3 内 容

(1) テーマ 「Believe in “Kosodati”～子育てを信じる～」

講 師 本間 俊美 氏(共育アドバイザー/この本大好き会の庄内支部事務局長)

(2) 講演・実演

【要旨】

①Believe その1「子育て5か条」を解く!

(「やまがた子育て5か条」は、子どもの自己教育力を伸ばすための大人の関わりや導き方のヒントを示したもの。大人も一人の親になった時、子の成長に関わり、共に成長しようとする事で、親育ちの力は高まっていく。)

②Believe その2「読書の目的」を解く!

(子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、〈=人間力〉創造力を豊かなものとし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものである。「子どもの読書活動の推進に関する法律」)

③Believe その3「ミニワークショップ」で解く!

(読書を楽しむ力〈自己教育力〉には、非認知能が多く含まれている。可視化するために、行動定義を設定して自己評価をする。)



4 参加者のアンケートから(記述抜粋)

- ・絵本の持つ力や、それを利用した家庭教育、読育がひいては人間力の成長につながるということが新しい発見でした。子どもだけではなく、大人も成長していくことの大切さを学ぶことができました。
- ・自分の読み聞かせを振り返り、点数をつけることで、反省点や新しい気づきなどがありました。よい本と出会うこと、よき友人と出会うことができました。
- ・自分が子どものころ、就寝前に父から何日にもわたって物語を読んでもらったことを思い出しました。私は今、3児の母。今度は私の番!今夜から「家読」実行したいです。
- ・子どもを「信じきる」、小さいことを一緒に喜べる親になりたいと思いました。

庄内地区「読育推進ネットワーク研修会」

- 1 期日・会場 令和5年10月6日（金）・庄内総合支庁
- 2 参加対象 子どもの読書活動にかかわっている方、読み聞かせボランティア、社会教育課・保健福祉主管課・子育て支援課・図書館職員、保育士、学校・幼稚園教諭 等（参加者31名）

3 内 容

テーマ 「もっと読書が好きになる【たねまき】」

講 師 本間 俊美 氏（この本だいきの会庄内支部事務局長）

事例提供者 鍋谷 志麻 氏（八幡子育て支援センター子育て相談員）

佐々木祐子 氏（酒田南高等学校 講師）

後藤 杏奈 氏（酒田南高等学校 食育調理科2年）

<前半>実践発表（55分）

- ・「乳児・幼児・児童の読育紹介」鍋谷 氏
- ・「高校生の読育紹介」佐々木氏 後藤 氏

<休憩・展示鑑賞>

<後半>講話（65分）

- ・「0～18歳までの読育推進の提言」本間 氏

4 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・「絵を読む」「体で読む」という言葉にひかれました。
- ・本の内容の質はもちろんだが「歌える」「音を出せる」など、子どもをひきつけるポイントを考えて選書するというアイデアをもらいました。
- ・子どもたちが絵本をつくることも、読書が好きになるたねまきの一つだと分かりました。
- ・同じ本でもいろいろな工夫で絵本の世界が限りなく広がり、全く別の読み方ができ、楽しさが倍増することを改めて学びました。音楽と体の動きを組み合わせた読み聞かせは、多くの子どもたちに体感してほしいです。



◆読育推進連携講座◆

村山地区「読育推進連携講座」①

1 テーマ 「いっしょにさがそう！絵本ハンターシーズンⅡ

どんぐりパラダイス」

2 期日・会場 令和5年11月12日（日）山形県立図書館（遊学館）こどもエリア

3 対象者 3歳～小学3年の子供とその保護者等（参加者29名）

4 内容 (1) 読み聞かせ（中庭のデッキ）

東北文教大学 学生6名

横沢 文恵 氏（東北文教大学短期大学部子ども学科 講師）

- ・どんぐりなど、秋にちなんだ絵本の読み聞かせ
- ・爽やかな秋晴れの中、クラリネットの響きを味わいながら絵本の世界を味わう。どんぐりの木や葉を探してみよう。

(2) 絵本さがしビンゴ（こどもエリア全体）

- ・絵本に出てくる秋のものでビンゴを楽しむ。
- ・ビンゴになったら県立図書館中庭のどんぐりや大きな松ぼっくりをゲット！

(3) ものづくり（アクティブラーニングルーム）

- ・松ぼっくりやどんぐりを使って思い思いのものづくり

(4) スペシャルエプロンシアター（おはなしのへや）

- ・手遊び歌で体も使って秋を味わう。



5 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・読み聞かせやビンゴゲーム、制作と盛りだくさんの内容で、あっという間の2時間でした。休日に子供と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。絵本でビンゴの企画がとても楽しく、新しい本に出合う良いきっかけにもなりました。
- ・子供たちがずっとニコニコ笑っており、自分から興味をもって絵本や工作に参加していました。子供たちの想像力の豊かさ、興味のあることに関する集中力に改めて驚かされました
- ・なかなか子供とゆっくり本に囲まれて過ごす時間がとれないので、今回のような企画はとてもうれしいです。
- ・子供の自主性に任せた方が生き生きと過ごせるなぁと実感しました。
- ・前回参加してとても楽しく、子供たちも「また参加する！」と話していました。
- ・お姉さん方との触れ合いも楽しんでいました。今回初めて県立図書館に来る機会になり、いろんな場所で企画してほしいです。

村山地区「読育推進連携講座」②

1 テーマ 「昔語りとりんごでぽかぽかの冬～絵本ハンターどっぴり朝日町～」
2 期日・会場 令和5年12月17日（日）朝日町エコミュージアムコアセンター
「創遊館」朝日町立図書館

3 対象者 3歳～小学3年の子供とその保護者等（参加者29名）

4 内容 (1) 昔語り・劇（ワークルーム1）



「語りの会つむぎ」代表：成原 千枝 氏 他6名

- ・『へったれ嫁』を朝日町バージョンにアレンジした昔語り・寸劇を楽しむ。
- ・参加型となるような演出の工夫や場の設定をする。



(2) 絵本さがしビンゴ（朝日町立図書館）

- ・昔話の登場人物等絵本に出てくるものでビンゴを楽しむ。
- ・ビンゴになったらものづくりの材料をゲット！



(3) ものづくり体験（ワークルーム2）

- ・「語りの会つむぎ」の皆さんのサポートで「パッチワークりんご」を親子で協力しながら作る。
- ・ビンゴで手に入れた材料をりんごに貼ったり、組み合わせてクリスマスのオーナメントにしたりする。



5 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・なかなか子供と一緒に何かを作る機会が作れないため、こういった機会に参加し、親子で楽しくできました。始めから最後までとても楽しめました。
- ・その土地の文化に触れることができ、劇も、大人も子供も笑える楽しいものでした。なまりがすばらしかったです。りんご作りもサポートしていただきながらとてもかわいいものができて大満足です。ビンゴも力を合わせてクリアするのが楽しかったです。
- ・一緒に物事に取り組む楽しさを改めて久しぶりに感じる事ができました。ゲームゲームの日々よりも、よっぽど有意義な時間となりました。
- ・親子で参加することで、親も力を抜いて心から一緒に楽しむことができました。
- ・一生懸命に本を探してビンゴを楽しむ様子や、創作活動に熱心に取り組む姿が見られて良かったです。

最上地区「読育推進連携講座」

1 テーマ 「親子で楽しむ パンと絵本」

2 期日・会場 令和5年9月24日(日) ①9時20分～12時(鮭川小児童対象)

②13時20分～16時(最上地区児童対象)

鮭川村中央公民館

3 参加対象 参加者計48名(小学校1・2年生児童24名、保護者24名)

スタッフ計13名(パン作り講師1名、鮭川村教育委員会職員3名、読み聞かせボランティア6名、事務局3名)

4 内 容

【パン作り体験】

講師：和田 和子 氏(キッズキッチンインストラクター・フードコーディネーター)

手ごねで、かわいい丸パンを作りました。焼くのを待つ間に、食パンにお絵描きもしました。



【おはなし会】

講師：あのねのね・トトロの森のお話広場(鮭川村読み聞かせサークル)

パン作りの前、途中にパンやお菓子の絵本をたくさん読んでもらいました。



5 参加者のアンケートから(記述抜粋)

- ・パンを作ったり、本を読んだり、食べたり、すごくすてきな時間でした。
- ・子どもやほかの親子と話しながら、楽しく参加することができました。
- ・日々忙しくしていて、一緒に本を読んだり料理をしたりすることがないので、このような講座があればまた参加したいと思います。
- ・体験型はとても良いと思います。大型絵本などあまり見る機会がないので、子どもが楽しかったといっていました。
- ・子どもが飽きないような日程でとても良かったです。簡単で家でもできそうなので、またやってみたいです。
- ・図書館にも行ってみたいと思いました。
- ・他の市町村でもこのような体験ができるといいなと思いました。



置賜地区「読育推進連携講座」

- 1 テーマ 『親子でチャレンジ！消しゴムスタンプで絵本づくり』
- 2 期日・会場 令和5年8月27日（日） 南陽市 沖郷公民館（防災センター）
- 3 参加対象 置賜管内の幼児～小学3年生
親子12組 28名（幼児8名 児童8名 保護者12名）
南陽市、長井市、高畠町、米沢市、川西町からの参加

4 内 容

講師：あるほなつき 氏（る一つ企画）

- (1) 絵本の製本実演見学
- (2) 楽しい絵本の読み聞かせ会

- ・ぬきつぬかれつ
- ・木の玉っころちゃん①
- ・わがままナおうさま
- ・めぐるぼんシリーズ2

ひとひねり しりとりでまわろう～♪

- (3) 消しゴムスタンプで絵本づくり



5 参加者のアンケートから（記述抜粋）

- ・絵本の内容や絵に興味があるのかと思っていましたが、絵本の作り方にも興味をもって聞いていました。視野が広がっているなど感じました。
- ・体を動かす遊びの方が多く、我が子が想像の世界をこんなに楽しめるのは新しい発見でした。
- ・出来上がった本を大事そうにしていました。今回を機に本が好きな子になってほしいと思います。親子でよい思い出を作ることができました。
- ・自分で絵本を作る楽しさ、お話を考える楽しさもあるんだなど発見できました。
- ・自分で絵本を作ってみるといのは、とてもワクワクする取り組みだと思いました。時間を延長してもらえてとてもありがたかったです。



絵本の製本実演



消しゴムスタンプで絵本づくり

庄内地区「読育推進連携講座」

- 1 テーマ バスと絵本でのりものワールドへゴー！ゴー！
- 2 期日・会場 令和5年7月1日（土）・庄内教育事務所
- 3 参加対象 親子11組22名（小学生11名・保護者11名）
- 4 内容 絵本・紙しばいの読み聞かせ+ペープサート+バスの乗り方教室
講師：鈴木 邦 氏 ・ 渡部 由美 氏
今野 まさ井 氏 ・ 佐藤 慶 氏（アナンシサークル）
中村 美穂 氏（庄内交通株式会社 乗合バス事業部次長）

【前半】乗り物の絵本・紙しばいの読み聞かせ、バスのペープサート

・「いただきバス」

・「まちではしる、とおくへはしる ぼくだ～れだ？」

【後半】バスの乗り方教室・周遊、絵本の読み聞かせ、ブックトーク（7冊）

・「たろうくんのじどうしゃ」

5 参加のアンケートから（記述抜粋）

- ・こういった講座に参加すると親子でモチベーションが上がり、読書の量が増えます。
- ・最後にバス車内で読み聞かせがあったのがとても良かったです。絵本の紹介も素敵だなあと思う本ばかりでした。
- ・ゲームやYouTubeが好きな娘ですが、本も好きなんだと改めて感じました。家でも「たろう君のじどうしゃ～」と歌っていて、余韻に浸っています。バスの乗り方教室も楽しく参加しました。バスの近くは危ないなど、親子で学ぶことができました。
- ・シールを貼って自分だけのバスを作ったり、初めて路線バスに乗ったり、バスの色々な機能を知ることができたりと、本当に楽しかったようです。帰ってから家族にとてもうれしそうに話していました。まだ読んだことのない絵本も教えてもらい、次の日にミライニに行ってさっそく「もぐらバス」を借りました。

